



「ドキドキ・ワクワク入園式」

4月2日に行われた川湯保育園(清水節子園長)の入園式の一コマです。今年は5人の新しいお友達が園児の仲間入りをしました。うれしくてちょっぴり不安な新しい春が始まります。

(関連記事29ページ)

Public relations magazine

2011.5

No.681

てしかが

主な内容

- 東北地方太平洋沖地震 今わたしたちは……②
- 今月は町税滞納整理強調月間です……⑤
- 第36回児童生徒読書感想文コンクール……⑥
- 第61号町議会だより第1回定例会……⑧
- 身近なことから環境について考えてみませんか……⑩
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設……⑫

むかしむか史(247)

てしかが歴史写真館¹²¹



大正時代のアトサヌプリ硫黄山の硫黄採掘

アトサヌプリ硫黄山の硫黄採掘は、1877(明治10)年に佐野孫右衛門によって始められました。鉱山経営はその後、1885(明治18)年に山田慎、1887(明治20)年には安田善次郎と替わっていきます。

安田は、山元から標茶の精錬所までの硫黄鉱石の輸送に鉄道を取り入れたり、蒸気精錬方法を取り入れるなど、近代的な経営を行いました。

しかし、硫黄の採掘量減少や品質低下、世界的な硫黄需要の不安定、さらに鉱区を借り受ける期間を10年間と契約していたことから、1897(明治30)年に硫黄採掘事業を中止し、休山にしました。

安田から山田に硫黄の採掘権が返された後も、鉱区を借りて経営をする人が残った硫黄をさらうように硫黄採掘は続けられていました。

写真は、大正年間のアトサヌプリ硫黄山の様子です。安田が経営していた時代の鉄道はなく、硫黄の運搬は佐野が硫黄採掘を始めたころと同じ馬になっています。佐野は馬に背負わせて運びましたが、馬車になっています。

てしかが郷土研究会(松橋)

てしかが 2011.5

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/企画財政課 ☎482-2913 ☎482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています